



## 部長通信

第 9 号

2017 年 3 月発行

主題 出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう

副題 ワイズライフを楽しもう

2016-2017 中部部長 川口 恵  
(名古屋クラブ)

### 3 月の西日本区強調月間 JWF

森本榮三 JWF 管理委員長 (大阪高槻クラブ)

JWF は皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします！

中部の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

2 月は、東西交流会についてご報告します。東西交流会は、金沢クラブ渋谷メン、グランパス荒川メンよりも報告をいただいています。

1. 東西交流会
2. 3 月以降の中部の行事について
3. 周年行事、東西交流会、西日本区大会、アジア大会
4. 九州から新クラブ設立とサツマイモファンドの案内
5. 東西交流会講演資料(山田公平様)

各クラブ活動の詳細は中部ホームページに掲載の各クラブブリテンをご覧ください。(中部ホームページ URL <http://www.ys-chubu.jp/main/index01.html>)

#### 1. 東西交流会

「語ろう、未来につなぐワイズスピリットを！」をテーマにワイズメンズクラブの東西交流会が 2 月 4 日(土)、5 日(日)と御殿場の東山荘で開催されました。

東と西ほぼ同数の参加で合計 370 名の参加があり、中部からは、金沢、金沢犀川、名古屋、東海、グランパスと 5 クラブからの参加がありました。

2 月 4 日は快晴で富士山が良く見え、2 月 5 日も朝はやや雲がかかった富士山が見えました。

プログラムは、開会式に続き、記念写真撮影、ラーメンタイム、分科会、懇親会、フェローシップアワー、翌日は早朝ウオーキング、礼拝、山田公平前アジア太平洋 YMCA 同盟総主事の講演、東北震災、熊本震災の復興支援状況の報告、DBC 締結式、IBC 締結式などでした。

東山荘の歴史紹介では、広岡浅子さん、ヴォーリスさん、フィッシャーさん、ディーン・リーパーさんなど、東山荘に縁のある人の紹介がありました。

ラーメンタイムでは、京都グローバルクラブの久保田メンを中心にグローバルのワイズによるラーメンの提供で、京都で今とても人気のあるラーメンをいただきました。とてもおいしかったです。

分科会では、ダンス、音楽、散策、など各自が参加したいものに参加。雪合戦は雪がなくて、かわりに松ぼっくりの玉入れでした。ダンスでは京都パレスクラブの川上ワイズによるカントリーダンスのレッスン。音楽では、大野次期理事を中心に楽器の演奏と歌を楽しみました。散策では、夕陽の丘から富士を眺めました。

懇親会では、歴代理事紹介は本当の多くの理事が参加されており、歴代理事のワイズへの熱い思いが感じられました。東西対抗合戦では、東日本は利根川理事指揮のもとゴスペル、西日本は岩本理事と守弘メンの親子による「ピコ太郎の PPAP」、遠藤直前理事夫妻による「ヒデとロザンナの愛の軌跡」、岩本理事応援団による「AKB48 の 365 日の紙飛行機」、これは、広岡浅子さんの「朝が来た」、のテーマソングです。

フェロシップアワーでは、DBC 交流会も行われました。

翌朝のウォーキングは、東山湖の前で朝陽を浴びてピンク色に染まる雲と富士山を眺め、たき火でマシマロを焼いて食べ、夕陽の丘で富士山を眺めました。

DBC 締結式では、大阪高槻クラブと千葉クラブの DBC 締結が、IBC 締結式では大阪泉北クラブと台湾 A-List クラブの IBC 締結が行われました。

前日の 2 月 3 日から参加組は、富士山に星を見るツアーにも参加して、満点の星も見たとのことでした。

今回の東西交流会は、何より、自分が参加したいプログラムに参加して、新しい友人や仲間を得て、またこれまでよりもより親しくなることができて、とても楽しい時間を過ごすことができました。

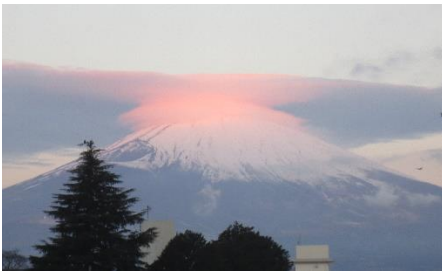
準備を重ねて、当日もご尽力いただいた東西ワイズの実行委員や東山荘や同盟連絡主事の皆さま、本当によい時間を過ごさせていただきありがとうございました。







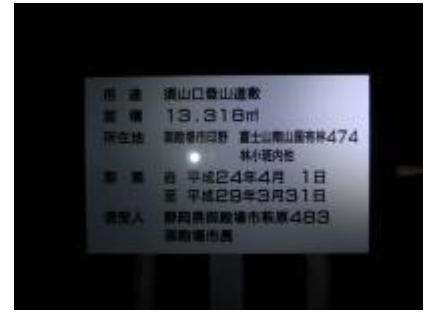




## 富士山星空ツアーに参加して

荒川恭次(名古屋グランパス)

私は東西交流会には1日早く参加しました。前夜差に参加するのが目的ではありません。仕事を午後半休として車で走れば、新東名高速道路経由で約3時間で御殿場着。休憩を入れても4時には東山荘に着くことができゆっくり休養が出来る。との企みでしたが、予定通り現地に到着し登録を行ったところ、オプションプログラムに「富士山星空ツアー」があるのを発見しました。事前予約ではないがOKとのことで即予約しました。散歩のようなものとその時は軽く思っていました。前泊の西日本区の仲間との夕食の後、とりあえず持参したトレッキングシューズに履き替え、オーバーかと思いつつもニット帽子、ネックウォーマーとダウンジャケットを着て集合場に所き、20名程の参加者とガイドさんの説明を聞いてバスにて現地へスタートしました。ところが市街地を抜けバスはどんどん登るではないですか。約1時間の行程で外気温は下がり続け真っ暗な目的地ではマイナス5度です。しかも足元は雪。冬山だ！。各自懐中電灯を渡され足元を照らしながら登り始めました。オーバー装備ではなくベストマッチでした。旧登山道を上ること約30分。道中ガイドさんによる獣の足跡解説とか木に彫られた落書きにワイワイ楽しく登りました。折り返し地点にて熱いココアが配られ倒木に腰を降ろしてふと見上げれば、満天の星空がそこにありました。森の中から観る星空は格別なものでした。単独では絶対に行けない冬の富士山夜間トレッキングは初めての貴重な体験でした。翌日からの濃厚なプログラムの前に頭をスッキリさせることができました。



## 第2回東西日本区交流会に参加して

澁谷 洋太郎（金沢クラブ）

2017-2-4～5に新装なった東山荘において第2回東西日本区交流会が開催されました。「語ろう1未来につなぐワイズスピリット1」と集まった370名に及ぶワイズ、ワイズメネット、コメントにより新装なったホールが溢れるような盛会になりました。

今回の企画には大きな期待をしておりました。それは新装なった本館をしっかりとこの目で確認をすることでした。この盛況を目の当たりにしてうれしく思いました。第1回の交流会は残念ながら参加できなかったのですが、東日本区の友ともご挨拶できて良かったです。

期待の新館は派手でもなく、地味でもなく、そのたずまいはしっとりと落ち着いておりました。富士山の眺望は期待通りの、ここ数年見られなかったすごい眺めでした。瞑想館でしばしの時を忘れました。

中部からは、川口部長を先頭に金沢クラブ3名、名古屋クラブ10名、東海クラブ5名、グランパスクラブ2名、金沢犀川クラブ1名の皆さん21名が参加されました。

金沢から東山荘への道順は高速道路ルートと新幹線東京経由と米原経由ルートがあります。今回は新幹線米原ルートをとりました。

東山荘への交通は問題でして今回も三島から貸し切りバス利用になります。今回は1000円必要とのことバス代の1千円札を汗のにじむほどしっかりと握りしめ無事に東山荘にたどりつきました。

くどくなりますが、今回の交流会で思わぬプレゼントがありました。それは富士山の山容が本当にくっきりと姿を現してくれたことです。瞑想館の窓からも、車窓からも、いままで記憶にないほどの鮮やかさで姿を見せてくれたことです。遠来の客へのプレゼントとしては最高でした。これからも富士のお山に魅せられて東山荘へ通いたいと思います。

## 2. 3月以降の中部及び各地の行事について

3月11日(土):名古屋 YMCA チャリティウオーク

主催:名古屋 YMCA

協力:ワイズメンズクラブ国際協会名古屋地区連絡会

集合:午前10時地下鉄名城線東別院駅②出口

申込み:3月4日(土)までに

申込先:名古屋 YMCA ボランティアセンター電話(052-757-3331)または  
FAX(052-757-3332)  
コース:杉原千畝人道の道

3 月 18 日、19 日(土・日)会長主査研修会

場所:大阪コロナホテル(最寄駅は新大阪)  
次期中部部長は山内ミハルメン(金沢クラブ)です。

3 月 20 日(祝):名古屋地区リーダー感謝会

主催:名古屋 YMCA リーダー会  
南山 YMCA 午後 4 時半～  
(担当スタッフ遠藤さんより)

2 年前から名古屋YMCA全体で行っているリーダー感謝会を今年度も行います。  
リーダー感謝会では、今年度のリーダー全員の働きに感謝し、大学を卒業するリーダーたち  
を社会へ送り出す会でもあります。  
昨年度はワイズの方のお力をいただき、温かくておいしい食事をご用意いただきました。  
YMCAに関わる多くの方に送り出さしてもらったリーダーたちは、OBOGとなった今も日和田  
やYMCAのプログラムや行事に積極的に参加してくれています。  
今年度もリーダー、ワイズの方々、スタッフで会を作り上げたいと考えています。

4 月 1 日(土):神沢保育園ファミリーコンサート

お問合せは グランパスクラブ早川会長まで。

4 月 8 日 9 日 10 日(土・日・月):東北震災復興応援ツアー

主催:グランパスクラブ  
問い合わせはグランパスクラブ阿部ワイズへ。

5 月 27 日(土) 第 3 回中部評議会 :

今年は西日本区大会が 6 月 10 日、11 日と行われますので、各クラブの皆様からの活動報告、  
ご意見をうかがって西日本区大会に臨みたいと思いますので、5 月末とさせていただきました。

3. 周年行事、東西交流会、西日本区大会、アジア大会

周年行事案内

4 月 1 日(土)長浜クラブ 30 周年記念例会

北ビワコホテルグラッツイエ 12 時半～登録費 8,000 円 申込は伊藤文訓メンまで

4 月 15 日(土)彦根シャトークラブ 35 周年記念例会

エクシブ琵琶湖 17 時～19 時 45 分 登録費 10,000 円、申込は鈴木康夫メンまで

5 月 14 日(日)名古屋東海クラブ 50 周年記念例会

マリエカリヨン名古屋(出雲殿グループ)12 時 30 分～16 時まで 登録費 10,000 円

## 第 20 回西日本区大会

6 月 9 日(金)前夜祭 菊池温泉(美人の湯と熊本産グルメのタベ)

6 月 10 日(土)～11 日(日)

10 日大会会場 菊池市文化会館(バス送迎あり)、菊池市亘 32

懇親会 ホテル日航熊本 熊本市上通町 2-1

11 日大会会場 ホテル日航熊本

## 第 27 回アジア・パシフィック地域大会

2017 年 7 月 21 日(金)～23 日(日)

タイ・チェンマイ

※ユースコンボケーションは、7 月 19 日～23 日 タイ・チェンマイYMCA

アジア地域とパシフィック地域が一つになり、アジア・パシフィック地域となりました。

### 4. 九州から新クラブ設立のニュースとサツマイモ販売のご案内。

熊本ひがしクラブから新クラブ設立総会のご案内が届いています。熊本震災もあった中で、熊本地区のワイズは、復興支援に、新クラブ設立と頑張っています。応援したいと思います。

また、サツマイモ販売のご案内も届いています。こちらも応援ください。

### <新クラブ設立の案内>

#### ワイズメンズクラブの皆様

熊本ひがしワイズメンズクラブ会長 岩本 芳久

設立準備委員長 平山 俊生

#### 熊本水前寺ワイズメンズクラブ(仮称)

#### 設立総会のご案内

ワイズダムへのご奉仕を感謝いたします。

YMCA水前寺幼稚園(熊本市中央区出水)が 2002 年に認可されて 14 年が経過しました。地域において子ども一人ひとりを大切に育てる保育を続けてきております。2015 年4月、YMCA水前寺運営委員会が立ち上がり、運営委員6名が活動を始めました。そして、更に幼稚園の活動を支えていくためにはボランティアの力が重要であるとの思いが集まり、熊本水前寺ワイズメンズクラブ(仮称)を設立するに至りました。

幼稚園とその取り巻く環境が「元気」であることは、地域社会の活性化に繋がります。昨年の熊本地震発災以後の経験からしても、地域での支え合いがなければ、命を繋ぐことは難しかったでしょう。YMCAが実現を願う「共に生きる社会」の姿をあらわしたいものです。

クラブ設立にあたり、メンバーへのお励ましを賜りたく、設立総会へのご参加を心からお願い申し上げます。

#### 記

日 時:2017 年3月 25 日(土) 午後3時～5時

場 所:YMCA水前寺幼稚園(096-362-4141 熊本市中央区出水 12-1)

内 容:1部・設立総会 2部・懇親会

参加費:2,500 円

問い合わせ & 申込先: 設立準備委員長・平山俊生(熊本スピリットワイズメンズクラブ)

携帯 090-2512-0889 FAX 096-234-6802

E-mail: hip@fine.ocn.ne.jp

締 切:3月15日(水)

■スポンサークラブ 熊本ひがしワイズメンズクラブ

■国際協会加盟認証状伝達式 6月10日(土)菊池市文化会館

(西日本区大会にて)

#### 〈サツマイモ販売〉

熊本の宮崎九州部長から震災復興・障害者支援のファンドのためのサツマイモ販売の案内がきています。

各クラブ会長様に案内を送りましたので、ご支援ください。

お問合せは「熊本げんき 阿蘇のめぐみ収穫舎」担当藤本ワイズ

電話番号080-8376-8356です。

なお、申込はメールまたはファックスです。

ファックスの場合は、ファックス番号は096-293-4293です。

※来年予約販売は4月受付予定、次年度は各クラブにてファンド事業として頂くため仕切り価格を設定致します。



※注文はFAXでもホームページからできます。問い合わせ等はホームページよりメールにてお願い致します。注文はまとめてがお得です、今回は阿蘇クラブ藤本ワイズに協力頂いてます。

ホームページアドレス

<https://www.kumayasai.com/>

#### 東 西 交 流 会 講 演 (資 料)

##### 「ワイズとYMCA、今後への期待」

前アジア・太平洋MCA同盟主事 山田公平様



山田 公平 様

こんにちは、宇都宮クラブ所属の山田公平と申します。アジアを中心に活動してきました、そんな中で、YMCAとワイズメンズクラブの関係を築きたいと考えています。アジア太平洋地域には韓国エリア、インドエリア、パシフィックエリアがあります。この3つのエリア会長をお呼びして今後のYとワイズの関係を強いものにしようという覚書を交換しました。2013の春のことでした。よかったと皆さん言うてくれましたが、その後何も起きておりません。トップがこれで行こうと言っても国や個別のYやワイズには何も伝わっておりません。トップダウン方式がうまくいっておりません。また、いろんなYMCAを訪ねて、ワイズになぜ入らないのと聞くと、



「知りません」、「やって何になるの」、と言います。「意味がない」という方もいました。ワイズの本部においてアジア太平洋でやったように関係を取り戻すイレーションオフィサーになって欲しいと依頼されました。今までやって来たことでしたので、昨年7月期からワイズ側からのアプローチでイレーションオフィサーになりました。昨年世界大会常議委員会などを通じて、アフリカ、ヨーロッパ、南米、北米、各地の総主事と会い個別に私の役割を説明し、「どうでしょう」と問いかけました。

しかし現実はとても厳しいものがありました。Yとワイズにはコミュニケーションができていない、あっても意見がくいちがう。YMCAがワイズに「こっちを支援して下さい。」といっても、ワイズはYMCAを向かず別のサービスを行っている。「YMCAは独自に活動していてワイズの援助は必要ない。」と言い切ります。YMCA側もワイズは「勝手に活動していると言います。」 2022年のワイズメンズクラブの100周年までにYMCAとワイズメンズクラブの関係を強いものにして行こうという計画を作りましょう、そして動き出そうとしています。この日本で成功事例を作り、取り組みや工夫でYとワイズが緊密になっていったという形が私の希望であります。次に事例を元にオーストラリア、タイ、香港で具体的に組み込んでみたいと思っております。そこが出来れば、韓国、インド、アフリカ、ヨーロッパにも進めて行きたい。これに応じるYMCAとワイズメンズクラブが「ああ、やってよかった。」と思うことを2022年までに多くの地域で実現したいと思っております。昨年8月のアジア地域大会でYとワイズの関係と、一昨日の夜、東西ワイズメンズとYMCAから伺ったお話も紹介いたします。世界のワイズメンは約3万人、その7割がアジアにいます。その他の地域は人数を減らしています。アジアがワイズの中心です。可能性はアジアが一番あります。国際大会のワークショップで、3つの質問をしました、「良い事例はなんですか。」「パートナーシップの共通する問題点はなんですか。」「今後なにがされるべきか。」という問いかけでした。良い事例は、YMCAの地域活動にワイズが応援してくれている。ASFファンドを利用してYMCAのスタッフを研修に派遣している。YMCAのユースプログラムを共同で行っている。しかしここには「ワイズが行っているユース事業の資金をYMCAで行えばもっと良いことが出来るのに、応援してくれないのですか?」「私たちは独自で行います。」というメッセージがYMCAから届いているのです。ワイズからの支援があっても、YMCAがそれを知らない、無視する、あまり感謝していない。担当主事が目まぐるしく替わり、関係が構築できた頃になくなる。YMCAのキーパーソンになる役員や会員がワイズに居なくなっている。YMCAにはワイズが応援したくなるプログラムが無い。今後への工夫として、Yとワイズが何を一緒にできるか白紙に戻って「地域奉仕やユース事業を一緒にやりましょう。」という合意が必要です。地域にこう言う問題があるから取り組みを考えましょう。というプロセスが必要です。また、チェンジエージングが必要です、ユースを卒業した若い人材をワイズがさらに応援していこう。担当主事、連絡主事の間関係を長く維持する、YMCAを動かせるような中堅以上のスタッフをワイズに取り込み活動していく。そうすれば、ワイズの内側からワイズを変えられます。関係を考える上の視点として、YMCAがワイズに応援してもらっている意識が薄い。ワイズが何をしているか知らないYMCA。コミュニケーション不足のさいたものです。ワイズとYMCAのリーダーが双方の意識を分かち合う場が必要です、意図的に作らなければなりません。YMCAの中にワイズが関心を持って応援したくなるような活動がありますか。これが無いとワイズは応援しません。提案としては、区で合意しても何もならない、部で合意してYMCAと一緒に活動する。東京ではワイズと話し合って活動を決定していく。頻繁に行い意味がある活動が必要です。YMCAは受託事業が多くなっています、信用を勝ち取りました。しかし、委託事業は規則が厳しくてスタッフに余裕がありません、そこへワイズが来て意見などを言うと、「もういいです。」となっています、これが実態です。これでいいのかという気持ちはありますが理解しながら、それでもやれ

ることを一緒に考えていこうという姿勢は必要です。2020年までに、一歩ずつ歩みを進めていきたいです。区レベルでは同盟と協力してTOF事業を提案する、ミャンマー、カンボジア、YMCAとワイズが一緒に行って合同で支援する。部レベルでは、部内にあるYMCAと合同でワークキャンプに派遣する。1YMCAではできないことを支援する。ローカルYMCAと個別のワイズレベルでは、新しい地域事業を生み出す、何があるかを話し合う事から始める。今回の絶好の機会で話し合われた一部をご紹介します。YMCAの活動を応援するのがワイズの喜びであり、魅力になります。YMCAの理解を深める機会を意図的につくるのが大切です。YMCAの会員活動があります、何かをしっかりと集まって来た人達この人たちが会員運動としてのコアなのです。YMCAは事業が忙しくなって、会員活動が少なくなっているのが現実です。YMCAは考えるべきです。この分野へワイズが力を入れるべき事柄でしょう。特別委員会を立ち上げたいと考えております。東西ワイズとYMCAとの関係を緊密にするための委員会です。提案したばかりで実現するかはまだわかりません。YMCAの総主事会議などでワイズとの関係うんぬんは話し合われたことはありません。この特別委員会を実現するためにはYMCAがキャスティングボードを握っています。年に2回会議を開いて、計画の作成実施状況の見守り、必要なアクションを起こして行きます。この日本の取り組みをアジアへ、世界へ発信していくのが狙いです。